

エンコウ様

子供たちを守ってね

六月六日、土曜の目暮れ前浜の後川にかかる小橋には、ちようちんがいつぱい。今日は「エンコウ祭り」。水の事故から、守って下さいエンコウ様」と祈る、子供たちの祭りです。

まずみんなで、シヨウブを集め、

きちんと並べて小屋を作り、お母さんが作ってくれたエンコウの好物キユウリもみと、お酒を供えます。両側にちようちんをかけ、橋の回りも、ちようちんを飾り準備完了。主役は、あくまで男の子。女の子は、準備が済むまで待ちば

うけ。

夕暮れ、ちようちんに灯が入る頃には、近所の人がお参りに出て来ます。「昔は、本当にエンコウ

がおつて、夜ふけに通る人を川へ引っぱり込みよつた。」と嘗うおじいさんが、シヨウブ小屋の前で、長い間合掌して祈る姿は、何ともほのぼのしたのを感じさせます。

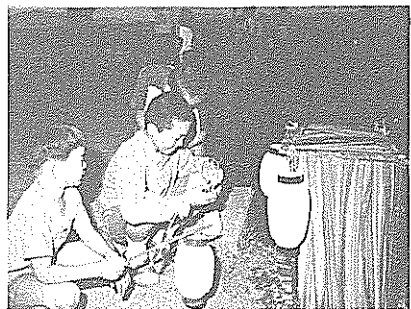
そして、いよいよ花火。ダンボール箱にどっさり入った花火に、

はしやぎながら火をつけます。夜空に上がる火花、手前に広がる青田、のどかな田園風景です。

後川は、昔は洗たくもできるほどきれいだつたとの事。今は淀んでほとんど流れていません。時代の流れで、川は変わってしまったけれど、祭りに寄せる人々の素朴な思いは、生き続けています。

水遊びの楽しい季節。

「エンコウ様、子供たちを水の事故から、お守りください。」



医療相談コーナー

Q & A



Q 不正出血があつたので診察を受けたところ、子宮腔部びらんといわれました。子宮がんの検診も同時に受け、幸い悪性ではないとのことでしたが、定期検診が必要とのこと。子宮腔部びらんは、どんな病気でしょうか。今後子宮がんになりはしないかと

A 子宮腔部びらんというのは、子宮入口附近の表面がはがれた、ただれのことです。特に三

十歳以後の女性には割合多くみられます。その殆んどは悪いものではありませんが、中に子宮頸がんになる前の異常なものとか、がんの始まりなどがひそんでいる場合があります。出血や帯下（たいげ）

ありもの（こと）などの症状があれば、そのまま様子を見てもよ

子宮がんは早期発見 年一回は定期検診を

いでしよう。

しかし、出血などの症状があれば、是非受診して下さい。そしてそれが良性か悪性かを検査することが最も大切です。

つまり、びらんが全てがんになるわけではありません。びらんの中の悪性のものを早く見つけ出すことが大切です。

悪性でもないのに出血がしばしばある場合などは、びらんの部分を手術で切り除いたり、焼きついたりする治療法があり、症状は治まります。

子宮腔部びらんの中の悪性のものが子宮頸がんです。これは早く

発見することが大切です。その症状は、月経と関係のない不正出血や、性交時とか排便時などの出血です。その他、ウミの様な、血液の混じつたものがあることもあります。

しかし、このような症状は、ある程度が進行した場合の症状ともいえます。ごく初期のがんでは全く症状のないこともあります。だから症状がないからといって安心はできません。

子宮頸がんを十分に治療するためには、早期発見・早期治療が必要です。ごく初期の子宮頸がんは殆んど完全になおります。そのためにも、たとえ症状が何にもなくても、少なくとも年に一回は検診を受けて下さい。

受診の時期は、いつでもよいの

ですが、月経の時、性交の翌日、腔洗滌の翌日などは検査結果に影響する場合もあるので、できれば避けて下さい。

受診方法は、毎年県市が行っている集団検診を受けるか、各個人で定期的な、例えば誕生日毎などに受診するのも一法でしょう。

いづれにしても、受診を年行事の計画に入れて下さい。この際、恥ずかしいとか面倒くさいとかの気持は禁物です。なお、自分で細胞を取って検査のみし

てもらう方法もあります。最後に次の言葉を提言します。心にとめておいて下さい。「子宮がん、検診受ければ、こわくない」

【南門市医師団 S 医師】